特集

・第8期中頓別町総合計画を策定しました (10年後の未来について)



2022 6 June



○ブドウ架線張りの様子 ブドウ架線張りの詳細は、P11「まちの話題」をご覧ください。





まり、 まいます。それでも町民一人ひと する」です。これは、 頓別(まち)のしあわせをデザイン 3月までの10年間のまちづくり ある豊かさと楽しさを生みだすま りの参加と恊働により、あたたか キャッチフレーズは、「小さな中 の取り組みについて、 口が近い将来には、 人口減少がさらに進むと中頓別町 第8期中頓別町総合計画 令和4年4月から、令和4年 ますます小さな町となってし 安心して、充実した暮らしの 目標実現に取り組みます。 減少に転じ 高齢者の人 方針が決

ちになることを目指すためです。

となどの様々な分岐点があると

分かりました。(P4~5参照

ジェクトを検討してきたことを 加を通じ、 総合計画が令和元年度から令和 中頓別町が目指す姿などについ お伝えしてきました。今月号で 様々なワークショップなどの参 3年度末までに町民の皆さん て紹介していきます。 先月号では、 総合計画の内容や10年後の 政策目標や重点プロ 第8期中頓別町

勢調査速報値では、

1638人と

和2年の総人口を1578人と独 査の総人口1757人を基準に令

将来人口では、平成27年国勢調

自推計していました。この年の国

計では、

1306人としており、

いう結果が得られ、

令和12年の推

人口減少が推計より抑えられたと

第8期中頓別町総合計画について

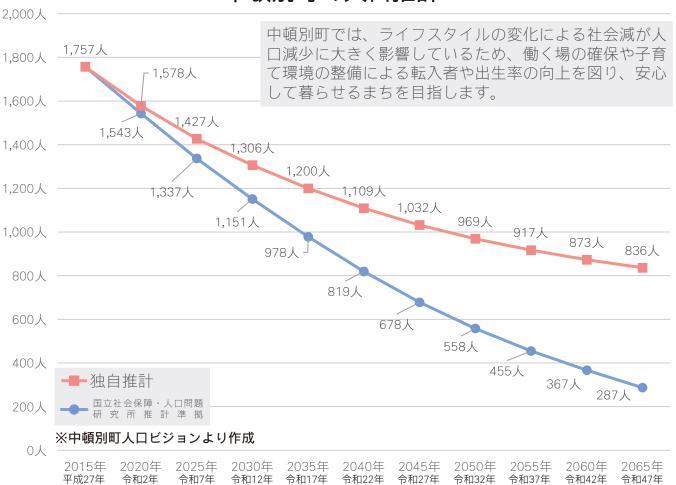
のページ参照

よう人口減少抑制に努めます。(次 この予測数値を下回ることがない

地域で暮らし続けるための方向性 町民の皆さんからヒアリング

段など高齢となっても地域で暮 因です。さらに、 らし続けることに不安があるこ 市部へ流出してしまうことが原 住環境が限られ、若い世代が都 れらは、地元では、職業選択 いう4つが挙げられました。 く暮らし続ける選択の分岐点と 点、③職業選択の分岐点、④末永 択の分岐点、②定住の選択の分岐 伺いました。 を通じて、様々な魅力や課題を 課題では、①進路選 将来の交通手

中頓別町の人口推計



生の 働に 未来 位置 を進め P 施 を有する多 ボ リングエコノミー」、 みを進めます。 つの分野を柱とし、 関連する取り組 本的な考え方とし 合計画のなかで、 ŧ 策目標や施策目標を定め、 「⑤新たな交通体系構築とシェ 教 組みを進めて行きます。 Ī 設 行 出 6~7参照) 育、 改主導の重点プ 掲げられてい ては、 付 推 指 す ょ 1 た を踏 3 1) \bigcirc 進、 向 け 了 情 す 「 ※ 縮 取 「しごと」、 9 Λ,, け 5 「自治体経営」 1) まえ、 き未来像 機 れ つ 9 4 地 充(し 組 か \bigcirc 能型コミュ 報 7 S させ 町 お ブ 防 化 2 る 17 D G 政 まちづくり 民 災 域 Ź ゅ 1) D を それぞれ、 町 策・ 「 ⑥ ゼ ロ 福 /拠点 共生社 楽 \bigcirc ジ ロジ < G 「

※

③くら 進 民 \bigcirc s に つ い 8地 I じ 参 10 施)目標, を土台に Š 祉 との協働 8 クト 加 I さ 年 の 取り 策と関 ゅ 境 ま を テ 方 \bigcirc Ó 後 機 カ を 組 # が 能 創 \bigcirc 1 7 政 3

│ 用語説明 (※この用語は 5 月号にも掲載しております。)

- ・SDGs (エスディージーズ) とは、日本語では、「持続可能な開発目標」と訳されます。2030年を 達成年限とし、17 のゴールなどから構成されており、すべての国が取り組むべき普遍的な目標が 掲げられています。
- ・**縮充(しゅくじゅう)**とは、人口減少が進むこれからの時代の人々の参加と協働による、あたたかで充実した暮らしのあるまちに向けてつくられた言葉です。
- ・「**くらしとしごと**」について、先月配布いたしました第8期中頓別町総合計画「人生の選択」の 冊子の中で、まちの取り組み重点プロジェクトの一つとして、「くらしごと」と記載いたしましたが、今月号以降は、「くらしとしごと」に変更とします。

アンケート調査

幸福度調査

質問1

質問2 幸福と判断する際に重視することは



質問3



中頓別町の魅力(子育て編・教育編)







5

施策目標

- ●あそびや生活の中で生きる力(探求心・好奇心)を育む幼児教育
- ②自ら学び自ら考える力を育てる学校教育の充実
- ●自分らしい生き方を実現するキャリア教育の推進
- 2特色ある教育活動の推進
- 1 生涯教育の推進
- ②いくつになっても楽しく参加できる文化・スポーツ活動の推進
- ●地域特性を活かした新たな産業振興 ②森林資源の循環利用の推進
- **5**誰でもいつでもチャレンジできる環境づくりの推進 **6**6 次産業化の推進
- ●多様で柔軟な働き方ができる環境づくりの推進
- 2新たな情報通信社会の導入実現に向けた技術活用
- ③自然と調和する住環境を整備し、人口減少対策の推進
- ●将来にわたり安心できる医療体制の充実
 ②安心して子どもを産み育てられる環境の整備
- 3誰もが安心して暮らせる地域共生社会の実現
- 4 障がい支援と心のなやみサポートの推進 5 男女共同参画の推進
- ●生涯を通じた楽しく学べる健康づくりの推進
- ●町民生活の防犯と交通安全の推進 ②心地よい住まい確保の推進
- ③安心な上下水道の推進 ④安全な道路網整備 ⑤地域交通確保の推進
- ⑥災害や火災に強いまちづくりの推進
- ●地域振興の推進 ②町民活動の活性化
- ●行政改革(デジタル・トランスフォーメーション化)の推進
- ②持続可能で健全な財政運営 ③広域連携の推進

福祉



環境・自治体経営



まちづくりの考え方

分野

政策目標

教育

将来を生きる 力を育むまち 幼少中を通して生きる力を育むまちづくり

子どもたちがいずれまちに戻りたいと 思う気持ちを育むまちづくり

大人も一緒に学べるまちづくり

しごと

資源を承継し新し い産業や働き方を 牛み出すまち 今ある資源を承継し新しい仕事をつくる まちづくり

多様な働き方と暮らし方が選択できる まちづくり

福祉

誰もが健康で 安心して暮ら せるまち 未永く安心して暮らせるまちづくり

いくつになっても健康でいつまでも元気に いられるまちづくり

安全で快適な生活ができるまちづくり

環境

美しい自然を守り共生するまち

ふるさとの自然に誇りが持てる まちづくり

自治体経営

持続可能なまちづくり

町民が主役のまちづくり

創造的な自治体改革と健全な行政改革

SDGs に掲げられている 17 の目標 (ゴール) について

第8期計画の政策・施策目標と関連した取り組みを進めて達成を目指します。

教育









しごと































のれ

アイデア

とし

て、実

5

送

部

か

5

は、暮

から

の生き

方

を

入現する.

た

デビュ

」、「育児と仕事の

両

立

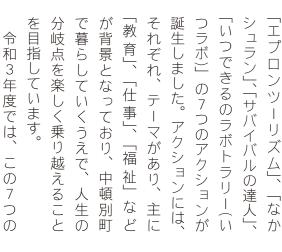
塾づくり」、アイデア放

オンライ

診町し

療営のめ





を目指

ま

す。

エププ

ツく

5

して、

方

働頓

き方

 \mathcal{O}

仕

組

2

ブ し

1)

中

別

町

独

自

 \bigcirc

新

(1

IJ

ズム

では、

ワイン

醸

Ċ

試

験

栽

培

 \bigcirc

見学会

10

新造

産

品

ブ

<

1)

 \bigcirc

検

討

を

す

る

め

試作品づくりを行う予定です。



短 to 立 にて、 代と交流による だけでなく、 休 る予定 ることがわ デ 3 集えて学習だけでは 10 るのかをさらに学ぶ機 町営塾づくり」では、 クショ 、課題 家庭内での家事・育児の :暇など子育てサ 療デビ 時 目 場 では、 間勤 タ 1 オンライン診 指 -合 ~です。 行 把握 で得た内容を に 調 \bigcirc 務 わ ュ 査 積 は ま などの か **B**T れ \bigcirc を す。 健 7 " 中学生、 3 内 実 取 「学びの場づくり 実 育 康 上 では、 事 現 1) 施。 児 げ どう実 情 療 ポ ط 実 業 オンラ 組 (態把 لح が さら が を なく、 所 報 向 7 $\overline{}$ 仕 医 高校 会 -C 必 希 企 け ま 小 \bigcirc 践 療 に 握 \bigcirc \bigcirc 事 を 要 望 画 た 分 ル 1 発 ア 実 育 \bigcirc 整 て C 機 4 段 異 生 学 検 担 両 関 ス き あ

町

民アイデア

「1つのアクショ

令和2年度

 \bigcirc

取り組み

で、



小さなまちのあたたかなつながり、 安全安心な暮らし

豊かな自然と共存するまちには、仲の良い人 間関係、安心な生活、災害の少ない安全な暮 らしがあります。

参加や協働によって、 豊かさと楽しさを生みだす「縮充」

「縮充(しゅくじゅう)」は人口減少が進むこれ からの時代の、人々の参加と協働による、あた たかで充実した暮らしのあるまちに向けてつ くられた言葉です。参加と協働により次の10 年のまちづくりを進めます。

人口減少時代に対応してきた 知恵と経験

これまでも、町民と行政が協働し、時代の変 化や課題に柔軟に対応してきた経験や知恵 があります。

きく、はなす、まなぶ、 やってみる

地

域 達

の技を学べる「自然体験

 \bigcirc

人と協働しながら色々

10年後の未来に向けて、町民ひとりひとり が、お互いの声をきき、対話を通して学び、 様々なチャレンジを大切にすることで、持続 可能なまちづくりを目指します。

ださい。 てね は 活 践 るように様々な検討 との とや商品開発の企画 も ることをまとめた「体験カレン さらに、 を企画 動に お 取り組む予定です。 SNSを活用した情報 問 協働を目指 では、天北厚生園 の制作を企画しています をにぎやかにつながるこ 関 ツアー参加 企画、 合わ 心 てい をお持ちに せ 、ます。 季節ごとにでき まで、 直 記を 行 などが 者募集の これらの 図の利用・ ご連絡 いなっ | 売所 11 発信 でき ぶよっ つラ 実 た 者

では、 プロジェ る \bigcirc 取 チ () ま お店の中で新たなお店を始 1) t 事業承継をテー 「ショップ・イン・ショップ」 かシュラン 組 レンジしたい す。 みを検討 クトの 内の森づくりや川 サバイバ 実践を企 方の マに、 で ており、 は、 ル)応援 \mathcal{O} 町 画して 起 達 する 内 釣 C

教

10

変 測 方や

か

あ

1) 時 育

ま 代

なのは、 とともに、 働により総合計画の策定を行う 画となっていま 様々な主体 の場や機会では ザインし、 の変化を学 の手引き書が次の10 から 未来の生き方を実現するた ながらこれ の生き方をデザイン 町 地 町 民 の協働 域で実現するた 民一人ひとりがこ からの生き方 ないでしょう 人ひとりが 情 す。 設報を取: に 時代に より、 町民との 年の総合 捨 えをデ 選 未 必 か。 協 計 8 域 択 来

ら の 10 せん。 され 実践できる未来の学びの場づく が来るのは 化により、 働き方は大きく変化すると予 を目指し |療が受けら 頓 このような変 ΙT ま や す。 年で私たちの暮ら 人工知能により、こ 10年後の未来像 きます。 社会構 遠い 遠 れ 隔で るとい 化 未来では 高度 造の大きな このプロセス \bigcirc な つ

意義を見つけることにもつな

に子どもや若者が参加すること

彼

ら自

身が

中

頓

別町

で暮

がります。

016341817671

· 合わ

ť

総務課政

策経

9